

# 須磨 塩屋海岸の洋館 Walk

2012. 7. 9.

梅雨の晴れ間 高倉山-旗振山から塩屋へ下る



梅雨の晴れ間 澄み切った快晴の空 家に居ると じんわり汗が出てきて 家に居る手はない。

先日 家内が言っていた塩屋の洋館が頭に浮かぶ。

須磨の山と海の狭い間を走りぬけ、電車がスピードを緩め、塩屋駅にかかる手前の山の中腹に赤や緑に縁取られた美しい洋館が幾つか建っていて、須磨海岸の美しい景色のひとつ。

かつて神戸の外人たちが好んで住んだ住宅地で、電車からはよく見るのですが、洋館へは行った事はなし。

この洋館のひとつ「グッケンハイム邸」でのミニコンサートがあり、行ってきた家内が「塩屋駅から須磨の方へすぐやった」という。



いつもの散歩コース 高倉山から旗振山から塩屋へ下って

塩屋の洋館を見に行こうと。「空が澄んでいるので、明石海峡もきれいに見えるだろう」と7月9日の午後 家を出て、妙法寺駅から高倉山の縦走路へ入る。 暑いが気持ちの良いWalk。

山の上からは 予想通り明石海峡がくっきりと。また、思いもよらず、大空高く水を噴き上げる山上遊園の噴水を独り占め。顔に当たる水しぶきが 心地よい。塩屋へ向かって森の中の山道をくだり、海が見える出口のところに洋館が建ち並んでいました。いつもは 途中の別れを塩屋の街の方へ道をとるので この道にはあまり記憶なし。

ぶらぶら 心地よい汗をかきながらの約2時間の山歩きでした。

早く家に帰って ビール 一杯。 もう 夏到来です。



旗振山頂から眺める須磨海岸から神戸市街地 2012. 7. 9.



旗振山頂から眺める明石海峡 2012. 7. 9.



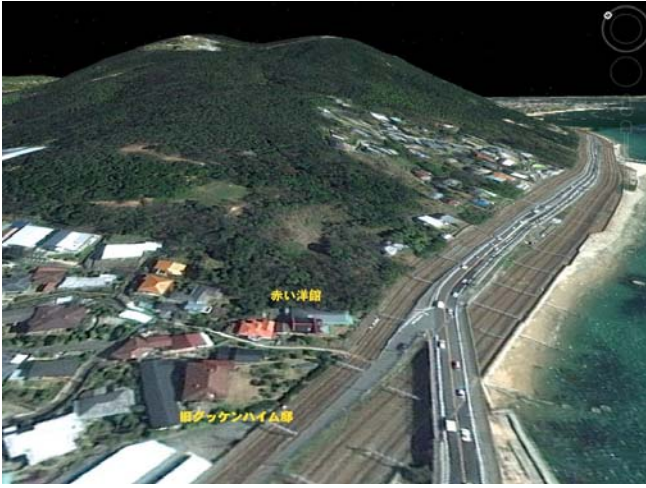
山上遊園の噴水



旗振山頂眺める須磨海岸・海水浴場



旗振山から 森の中を塩屋へ下ってゆくと 不意に明石海峡の海が見え、山の傾斜地に広がる塩屋の街に出る



須磨 旗振山を下った南西山麓の斜面に建ち並ぶ美しい洋館群 2012. 7. 9.



グッケンハイム邸 2012. 7. 8.

公開日を決めて公開されたり、コンサート・会合など一般に使われている



赤い洋館

電車の線路から見上げる赤い洋館



10分間のブレイク



山陽電車 塩屋駅付近から見た須磨



塩屋は 明石海峡を前に 山陽電車と JR とが狭い須磨の海岸ぎわを東西に走り抜け、山腹には美しい洋館が建ち並ぶ神戸スタイルの住宅地。須磨のきれいな景色のひとつ。

電車で須磨周辺を通り抜けるとき 是非 海ばかりでなく、山側にも目を向けてください